

株主通信

平成21年度中間報告書

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

第62期

- ご挨拶
- ピーエス三菱グループのCSR活動
- トピックス
- 完成工事(土木)
- 完成工事(建築)
- 連結決算の概要
- 会社情報
- 株式情報



山王メディカルセンター（東京都）



CONTENTS

● ご挨拶	1
● ピーエス三菱グループのCSR活動	3
● トピックス	5
● 完成工事（土木）	6
● 完成工事（建築）	9
● 連結決算の概要	11
● 会社情報	13
● 株式情報	14

● 表紙の説明

平成21年10月13日、2年間の建築工事期間を経て山王メディカルセンターが完成、開業の運びとなりました。

山王メディカルセンターは、地下鉄・青山一丁目駅前の利便性に優れた場所にあります。最新医療機器を備えた人間ドック部門を中心に、「女性腫瘍センター・婦人科」や「人工透析センター」「一般外来」を設け、それぞれ質の高い、確かな医療が提供されます。さらに、病院に在ることを忘れるような落ち着いた雰囲気と温かみを持ったレストランや専用ラウンジを備えるなど港区赤坂の地にふさわしい洗練された都市型の新しいタイプの医療施設が誕生しました。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

平成21年度第2四半期累計期間における国内経済は、輸出や経済対策に支えられる中で企業の在庫調整の一巡もあり、景気は回復の兆しが見られるものの、個人消費や設備投資の基調は引き続き弱く、民需主導の自立回復が実現するまでには、相当な時間がかかると考えられ、暫くは不安定な景気動向が続いていくものと思われます。

当社が属します建設業界におきましては、過去最大規模となる補正予算により公共投資は堅調に推移しておりますが、今回補正予算の見直しが検討され、先行きが不透明となっていることや、民間建設投資については住宅需要の低迷や企業の設備投資意欲の予想以上の減退により大幅に減少しているなど、業界全体としては非常に厳しい経営環境が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループはPC（プレストレスト・コンクリート）技術を基軸とした総合建設業として、公共工事を中心とする「土木事業」と民間工事を中心とする「建築事業」を2本柱とし、高強度、高品位、高耐久性、高耐震性に優れたPC技術を建築や一般土木へ応用することを強力に推し進め、他社との差別化を図るなど幅広い営業を展開してまいりました。その結果、当社の得意としている工事として、建築においては、PCaPC（プレキャスト・プレストレスト・コンクリート）工法による住宅や倉庫の施工実績、PCaPC外付けフレーム耐震工法による学校の耐震補強の施工実績が着実に増加しており、土木におきましても橋梁の上下部一式の施工実績や基礎構

造物におけるH型PC杭やPCウェルの施工実績が増えてまいりました。また、今後建設投資全体に占める割合の上昇が予想されます維持補修分野につきましても、建築構造物のリニューアル工事や橋梁の補修・補強工事（橋脚の耐震補強工事、コンクリート床版の取替工事、電気防食工事など）に取り組んでおります。さらに、昨年に続く黒字化の達成を目指して、「受注管理」「原価管理」「購買管理」「資金および与信管理」の強化などの施策を実施してきたほか、「販管費」の削減にも懸命に努力してまいりました。

平成21年度第2四半期累計期間の連結受注高は、民間建設投資の急激な悪化により建築部門の受注が大幅に減少したことや、土木部門での工事発注の遅れなどにより342億51百万円（前期670億68百万円 前年同期比48.9%減少）となりました。連結売上高につきましては、土木部門での繰越工事が多く売上高を大幅に押し上げたことにより526億19百万円（前期462億57百万円 前年同期比13.8%増加）となりました。損益の状況につきましては、販管費の大幅な削減により連結経常利益9億49百万円（前期9億12百万円の損失）、連結純利益9億82百万円（前期5億6百万円の損失）となり、合併以来初めて第2四半期累計期間の時点における黒字を達成いたしました。

しかしながら、当期の配当につきましては、景気回復の遅れにより建設業界の先行きに不透明感もありますことから、中間配当金および期末配当金は無配とさせていただく予定です。無配となることにつきまして深くお詫び申し上げますとともに、一日でも早く復配できますよう社員一同全力で業務に励む所存であります。なにとぞご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

今後の建設業を取り巻く環境は、補正予算の見直しが検討されるなど公共工事発注量が減少する傾向になるものと見込まれ、民間建設投資につきましても、回復が遅れるものと予測されており、建設業の先行きについては非常に厳しい状況が続くと思われます。

このような状況下、当社グループは厳しい経営環境の中でも耐えられるように、体質改善を目指して、組織の変更や人員の削減などに取り組んでまいりました。平成21年度につきましては、「リカバリーピーエス三菱」のスローガンのもと、事業規模が縮小しても利益の出せる体制・体質を作り、昨年に続く黒字化の達成を目指して、次の7点に重点をおいて取り組んでおります。

- ①受注管理の徹底
- ②原価管理の徹底
- ③購買管理の徹底
- ④資金および与信管理の徹底
- ⑤安全意識の徹底
- ⑥品質管理の徹底
- ⑦CSR活動の推進

以上のような施策を実施して、恒常的な黒字体質の構築を当面の目標とし、企業競争力を強化して永続性のある強固な経営基盤を築いてまいります。

株主の皆様におかれましても、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

平成21年12月



平成21年度のCSR活動は下記目標のもと、四半期毎に策定した計画を実行しております。業務全般あるいはCSR活動を可視化することに重点をおき、活動状況の実態把握および改善が容易にできるシステムを構築し、実効性のある体制の整備をテーマに掲げております。

1. 「リカバリーピーエス三菱」再生プロジェクトの完遂
 - コンプライアンスによる企業価値の向上
 - 原価・損益の「見える化」の推進
 - 与信管理の徹底
2. 安全・品質に対する全社サポートの推進
 - 「ご安全に」声かけの励行（会議等）
 - リスクアセスメントの100%実施
 - 不具合・災害事例の「見える化」による水平展開の推進
 - 技術の伝承に対する取り組みの強化
3. 内部通報制度による自浄機能の促進
 - 内部通報制度のグループ適用化の周知
 - CSRなんでも相談室の周知徹底
 - 通報者保護を目的とした内部通報制度の研修実施
4. 風通しのよい職場環境の整備
 - 三ざる（見ざる・聞かざる・言わざる）の防止
 - 社長チャンネル、週報制度によるコミュニケーションの推進
5. 財務報告に係る内部統制の完全実施
 - 運用における欠陥を許さない、厳格でタイムリーなチェックの徹底

また、昨年度より部署内のCSR活動を推進するべく導入されたサポーター制度は、今年度より各部署正・副の2名体制に増員し、98名を選任し、CSRが部署内で一層機能するよう普及に努めております。9月下旬にサポーター研修を実施し、今年度の活動概要などを説明しております。



10月、ピーエス三菱「企業倫理月間」を実施しております。

昨年より、10月を企業倫理月間に定め、コンプライアンス意識の高揚を目的に様々な取り組みを実施しております。活動の詳細・結果などにつきましては、平成21年度報告書にてご報告させていただきます。

◆コンプライアンス活動

会社で働く一人ひとりの業務遂行におけるコンプライアンスの徹底は、もはや企業の大前提となることから、当社においてもCSRの基盤・根幹として位置付け、活動にあたっております。上期における取り組みとして、7月14日に「営業担当者向けコンプライアンス研修会」（各事業所にPC会議システムを用いて同時配信しております。）、8月22日に「役員向けコンプライアンス研修会」を実施しました。今回の役員向けコンプライアンス研修会には、関係会社社長も参加しております。

このほか、4月には内部通報制度の改定により関係会社社員の相談・通報も受付けることとなり、ピーエス三菱グループとしてのCSR活動をさらに進めてまいります。



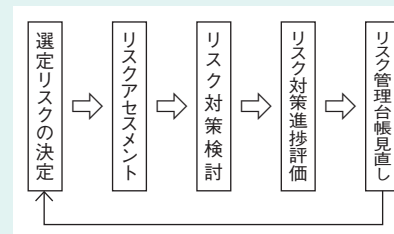
営業担当者向けコンプライアンス研修会
212名受講（関係会社 17名受講）



役員向けコンプライアンス研修会
20名受講（関係会社 7名受講）

◆リスクマネジメント活動

昨年度試行した各部署におけるリスクマネジメント活動を、今年度より本格的に運用しております。部署毎のCSRに関する年度目標達成に障害となりうるリスクを選定し、対策を立てるものです。この活動をPDCAサイクルで回すことにより、リスクの未然防止あるいは顕在化した場合の被害の極小化を図っていきます。来年度以降についても継続しながら、CSR活動の軸となるよう進めてまいります。



◆コミュニケーション活動

ステークホルダーの皆様当社のCSR活動に関する情報を発信するための「CSR報告書」につきましては、当社ホームページ（<http://www.psmic.co.jp/>）に掲載しておりますので、是非とも御一読ください。

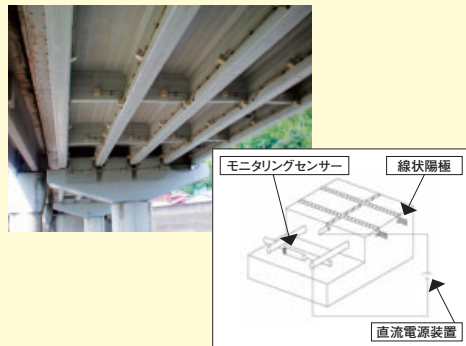


PI-Slit工法（ピーアイスリット工法）が NETIS（新技術情報提供システム）に登録される

当社はかねてより維持管理分野の技術開発を行っておりますが、その中でも塩害によるコンクリート中の鋼材腐食を電気化学的に抑制する線状陽極方式電気防食技術は、同業他社を一步リードする技術力を保有しているものと自負しており、多数の施工実績があります。

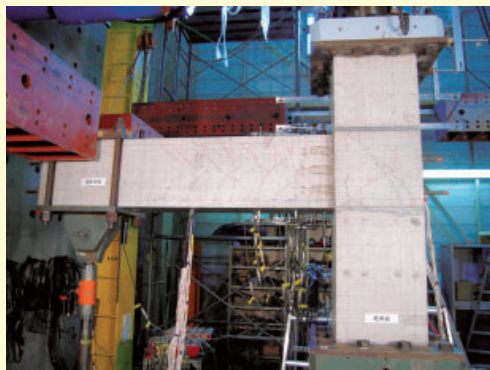
当社の線状陽極方式電気防食技術をPI-Slit工法（ピーアイスリット工法）としてNETISに登録申請していましたが、2009年7月に登録公開されました（登録No.KT-090033）。

今回NETISに登録公開されたことで、社会的な認知度が高まることが期待できます。



※NETIS（New Technology Information System：新技術情報提供システム）とは、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備され、国土交通省のイントラネットおよびインターネットで運用されるデータベースシステムのことです。

PCを用いたプレキャスト柱梁接合部の耐震性能確認試験



超高層建築物の施工にプレキャスト工法の採用は有意な手段であります。当社の設計施工物件で現在施工中の22階建の超高層免震住宅に、柱はプレキャスト鉄筋コンクリート造、柱梁接合部を含む梁はプレキャスト鉄筋コンクリート造で、梁同士をPC鋼材で圧着して架構を形成するプレキャスト工法を採用しました。それと並行して柱梁接合部の構造性能を調べる実験を行い、耐震安全性を確認しました。

この架構形式は、構造安全性はもちろんコストにおけるメリットもあり、今後、超高層建物や免震建物だけでなく、高層建物にも適用範囲を広げることができると考えております。



相模川渡河橋（神奈川県）



当該事業は、延長約300kmの首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部として、神奈川県を南北に走る約34kmの自動車専用の高規格幹線道路（さがみ縦貫道路という）であり、県央国道の渋滞緩和をはじめ、東名高速道路、中央自動車道へ連絡することにより、交通の流れを円滑にして環境改善などに寄与する目的も有しています。

本橋は、そのさがみ縦貫道路の相模川を跨ぐ橋梁でPC 6径間連続ラーメン2室箱桁橋（L=420m）です。本工事は、相模原市、厚木市、相模川水系ダム管理事務所、および総合整備事務所など、複数の所轄官庁によって管理されています。現場では各機関と連携し、工事の遅れを出さぬよう打合せなどを入念に実施し、第一温水期には前業者設置による河川区域内の工事用道路の撤去、第二温水期には脚頭部、柱頭部施工、また第三温水期には張出施工、側径間施工を行い、出水時期には河川内を使用せず橋面からの作業にて、橋面工、付帯工を施工しました。

施工については、当社技術提案に基づき柱頭部大型化による施工継ぎ目の削減、張出施工サイクルの短縮、外ケーブルには超耐久性PC鋼材、定着具を使用して新技術の活用を行い、より高品質な構造物を施工しました。P1橋脚の遅れによる当初工程の変更があったものの、工事一時中止期間を考慮した変更工期内で完成しました。



SJ63工区高松坂出口撤去その他工事（東京都）

高松坂出口は、首都高速中央環状新宿線工事に伴い旧高松出口の代替出口として平成16年に完成した鋼桁橋構造（全長約400m、擁壁部約100m、橋梁部約300m）のランプです。平成20年12月の中央環状新宿線開通に伴い、その役目を終え撤去されることとなりました。

現場は、池袋駅西方約1km、幹線道路である山手通りに位置していたため、作業の大半が車線規制を伴う夜間作業でした。特に鋼桁撤去作業においては、施工ヤードを確保するため山手通り内回り車線を約800mに渡り外回り車線側に切り回して対面通行とし、内回り車線側を全面通行止めするという大規模な交通規制を実施しました。都心部、幹線道路上という厳しい諸条件の中、平成21年6月施工を完了しました。



成田高速線、松虫川橋りょう外18箇所（PCけた）（千葉県）

成田高速鉄道整備事業では、東京都心と成田空港を30分台で結ぶため、最高速度160km/hで運行する鉄道を平成22年度開業予定で整備しております。当工事は、本整備事業の一環として、北総線と成田空港高速鉄道を結ぶ10.7kmの新設区間の内、その始点方の延長1,415mのPC橋上部工の施工であり、その内訳は、プレテンションU型コンボ橋60連とポストテンションT桁橋8連の製作・架設工事となっております。U型コンボ橋は、平成17年に開業したつくばエクスプレスで採用された構造で、U型桁を子会社であるピー・エス・コンクリート株式会社茨城工場で作製し、現地までポルトレラーで運搬いたしました。また、T桁は現場内ヤードで作製し、特殊トレーラーで架設場所まで運搬いたしました。主桁はトラッククレーンによる架設で施工し、平成21年6月に完成しました。



新日野橋下部工事（鳥取県）

本工事は、日野川に架かる国道9号線の新日野橋拡幅事業に伴う下部工拡幅工事です。

この事業は、新日野橋の両端にある交差点での右折待ち車両による交通の阻害を軽減すべく右折レーンの新設と歩道部の拡幅を行うものです。これらの交差点は、国土交通省が沿線住民の方に行ったアンケートでも、最も危険と指摘されたことから、早急に整備することが求められておりました。この事業により車の通行だけでなく、歩行者も安心して利用できるようになります。

また、日野川は鮎が獲れ、流域は自然の豊かな河川です。このような背景の中で求められたものは、早く、そして、環境により優しい方法での施工でした。本工事では、プレキャスト部材を使用したPRC橋脚とすることにより、周辺環境に配慮し一週水期で施工することができました。PRC部材の製作と圧入は、当社子会社である、ピー・エス・コンクリート株式会社水島工場と、菱建基礎株式会社の協力を得て、平成21年6月に完成しました。





三菱電機株式会社 三田製作所C101棟（兵庫県）

三菱電機株式会社三田製作所は、兵庫県三田市の中心部に立地し、主にカーナビゲーションシステム、エアバッグコントロールユニットといった高度な自動車関連製品を製作しております。製作所正門横に建築されたC101棟は事務所で、当社設計・施工、鉄骨造地上3階建ての開放的で明るいオフィスとなっております。

屋上緑化の採用など環境に配慮し、窓にはペアガラス、トイレには人感センサーLED照明を採用、省エネにも配慮しており、CASBEE（キャスビー：建築環境総合性能評価システム）でAランクの格付けを取得しております。



パロス・コート（神奈川県）

パロス・コートは当社設計・施工による鉄筋コンクリート造、5階建て84戸のワンルームタイプのマンションで、東京、横浜へのアクセスの良い閑静な住宅街である川崎市の中原区にあります。

バルコニー部分は、打放しコンクリートを採用しグリッド状に割り付け、妻壁に採用した落ち着いた配色のタイルと合わせ、モダンな外観を創り出しております。

また、近隣環境への配慮から、敷地北側の空間を大切に、駐車場は平面駐車としております。



川崎水江物流センター（神奈川県）



※PC躯体工事

川崎水江物流センターは、川崎市の臨海部に立地する国内有数の物流施設です。大型トレーラーが相互通行できる直径50mのランプウェイを有し、5階建ての全階層にトラックが乗り入れられる構造となっております。

構造躯体にPCaPC工法が採用されており、「空間の広さ」、「重量物収納に耐える堅牢さ」、「保管物を安全に保つ優れた耐震性」、「メンテナンスフリーの優れた耐久性」など、物流施設に必要な条件を備えた建物となっております。当社はPC躯体工事を一式で請け負い、総重量約73,700トンのPCa部材を子会社であるピー・エス・コンクリート株式会社の茨城工場と北上工場で作りました。PCa部材の組み立てには大型クレーンを6台使用することで、迅速で安全な施工が可能となり、6ヶ月間で構造躯体を完成しました。

大栄空輸株式会社 那覇空港新貨物ターミナルビル（沖縄県）



※PC躯体工事

那覇空港の新貨物ターミナルビルは、旧国内線ターミナル跡地の64,000㎡の敷地に新たに建てられ、航空会社が入居する施設が2棟、輸送代理業者が入居する施設が2棟、管理棟1棟の計5棟から成り立っております。この新しい貨物ターミナルは日本一、世界でも5番目という規模で、旧ターミナルのおよそ5倍の大きさとなります。10月から国内外の貨物便を那覇に集め、仕分けしたうえで再び世界に配送する国際貨物事業のハブ拠点となっております。

全ての建物を含めた延べ床面積は44,000㎡、この内27,000㎡の荷捌き棟に短工期施工を目指し、耐塩害性、耐風圧性に優れた点も考慮し、PCaPC工法が採用されました。当社はPC躯体工事を一式で請け負い、柱・梁・屋根版などのPCa部材約15,000トン沖縄県内の2工場で作成し、約1.5ヶ月の工期で構造躯体を完成しました。

連結貸借対照表

			(単位：百万円)		
科目	期別		科目	期別	
	第 61 期 期 末 (平成21年 3 月31日)	第62期第2四半期会計期間末 (平成21年 9 月30日)		第 61 期 期 末 (平成21年 3 月31日)	第62期第2四半期会計期間末 (平成21年 9 月30日)
流 動 資 産	87,849	75,592	流 動 負 債	83,393	69,739
現 金 預 金	9,722	7,219	支払手形・工事未払金等	42,811	32,502
受取手形・完成工事未収入金等	44,752	33,849	短 期 借 入 金	15,828	12,634
未 成 工 事 支 出 金	21,070	21,811	未 払 法 人 税 等	340	403
そ の 他 た な 卸 資 産	3,221	3,372	未 成 工 事 受 入 金	14,657	15,886
繰 延 税 金 資 産	47	82	賞 与 引 当 金	166	137
未 収 入 金	8,058	8,726	完成工事補償引当金	173	226
そ の 他 流 動 資 産	1,275	690	工 事 損 失 引 当 金	2,471	2,640
貸 倒 引 当 金	△ 298	△ 160	そ の 他 流 動 負 債	6,944	5,307
固 定 資 産	17,099	17,571	固 定 負 債	6,069	6,943
有 形 固 定 資 産	12,745	12,815	長 期 借 入 金	-	1,500
建 物 ・ 構 築 物	7,513	7,469	退 職 給 付 引 当 金	3,754	3,134
機械、運搬具及び工具器具備品	11,444	11,685	役員退職慰労引当金	172	152
土 地	9,276	9,136	再評価に係る繰延税金負債	2,115	2,088
リ ー ス 資 産	-	58	そ の 他 固 定 負 債	26	66
建 設 仮 勘 定	47	43	負 債 合 計	89,463	76,682
減 価 償 却 累 計 額	△ 15,535	△ 15,578	株 主 資 本	13,485	14,506
無 形 固 定 資 産	38	39	資 本 金	4,218	4,218
投資その他の資産	4,314	4,715	資 本 剰 余 金	8,110	8,110
投資有価証券	1,041	1,176	利 益 剰 余 金	1,215	2,237
長 期 貸 付 金	98	69	自 己 株 式	△ 59	△ 60
破産債権、更生債権等	3,101	2,885	評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,952	1,932
繰 延 税 金 資 産	290	232	その他有価証券評価差額金	42	117
そ の 他 投 資 等	2,987	3,261	土 地 再 評 価 差 額 金	1,893	1,853
貸 倒 引 当 金	△ 3,205	△ 2,909	為 替 換 算 調 整 勘 定	17	△ 39
資 産 合 計	104,948	93,163	少 数 株 主 持 分	47	42
			純 資 産 合 計	15,485	16,481
			負 債 ・ 純 資 産 合 計	104,948	93,163

連結損益計算書

			(単位：百万円)		
科目	期別		科目	期別	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 9 月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年 4 月 1 日 至平成21年 9 月30日)		前第2四半期連結累計期間 (自平成20年 4 月 1 日 至平成20年 9 月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年 4 月 1 日 至平成21年 9 月30日)
売 上 高	46,257	52,619	売 上 原 価	42,800	48,318
売 上 総 利 益	3,456	4,300	売 上 総 利 益	3,456	4,300
販売費及び一般管理費	4,095	3,405	販売費及び一般管理費	4,095	3,405
営業利益又は営業損失(△)	△ 639	894	営業利益又は営業損失(△)	△ 639	894
営業外収益			営業外収益		
受 取 利 息	7	18	受 取 利 息	7	18
受 取 配 当 金	6	6	受 取 配 当 金	6	6
持分法による投資利益	5	5	持分法による投資利益	5	5
為 替 差 益	-	170	為 替 差 益	-	170
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	33	10	ス ク ラ ッ プ 売 却 益	33	10
還 付 加 算 金	21	1	還 付 加 算 金	21	1
そ の 他	27	16	そ の 他	27	16
営業外収益合計	102	228	営業外収益合計	102	228
営業外費用			営業外費用		
支 払 利 息	177	140	支 払 利 息	177	140
為 替 差 損	142	-	為 替 差 損	142	-
そ の 他	55	33	そ の 他	55	33
営業外費用合計	376	174	営業外費用合計	376	174
経常利益又は経常損失(△)	△ 912	949	経常利益又は経常損失(△)	△ 912	949
特別利益			特別利益		
固定資産売却益	114	34	固定資産売却益	114	34
貸倒引当金戻入額	316	403	貸倒引当金戻入額	316	403
そ の 他	47	19	そ の 他	47	19
特別利益合計	478	457	特別利益合計	478	457
特別損失			特別損失		
固定資産除却損	9	5	固定資産除却損	9	5
減 損 損 失	-	67	減 損 損 失	-	67
退職特別加算金	14	42	退職特別加算金	14	42
転進支援費用	-	45	転進支援費用	-	45
そ の 他	3	4	そ の 他	3	4
特別損失合計	27	165	特別損失合計	27	165
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 461	1,240	税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 461	1,240
法人税、住民税及び事業税	119	329	法人税、住民税及び事業税	119	329
法人税等調整額	△ 68	△ 66	法人税等調整額	△ 68	△ 66
法人税等合計	50	263	法人税等合計	50	263
少数株主損失(△)	△ 5	△ 4	少数株主損失(△)	△ 5	△ 4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 506	982	四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 506	982



会社情報 (平成21年9月30日現在)

- ◆商号 株式会社ピーエス三菱
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.
- ◆設立 昭和27年3月1日
- ◆資本金 4,218,500,000円
- ◆従業員数 単体：1,085名
連結：1,546名
- ◆本社・支店
- 本社 〒104-8215
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9111
- 東京支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9511
- 東北支店 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル
(022) 223-8121
- 名古屋支店 〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル
(052) 221-8486
- 大阪支店 〒530-6027
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー
(06) 6881-1170
- 広島支店 〒730-0036
広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル
(082) 240-7011
- 九州支店 〒810-0072
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル
(092) 739-7001

役員

取締役および監査役

代表取締役社長	勝 木 恒 男
代表取締役	松 下 基 生
代表取締役	杉 本 武 司
取締役	久 保 敬 三
取締役	野 村 貞 廣
取締役	中 田 俊 一
取締役	清 川 浩 男
取締役	上 村 清
取締役	高 椋 晴 三
常勤監査役	松 本 好 男
常勤監査役	森 岡 一 彦
監査役	古 賀 尚 宏

(注) 取締役清川浩男、上村 清、高椋晴三の3氏は社外取締役であります。
監査役松本好男、森岡一彦の両氏は社外監査役であります。

執行役員 (※は取締役兼務)

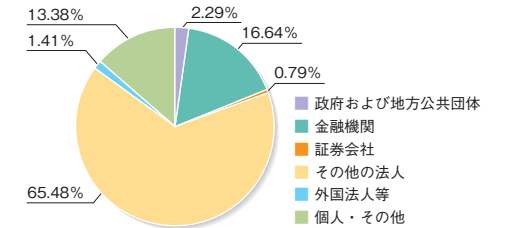
※社長執行役員	勝 木 恒 男
※常務執行役員 建築本部長	松 下 基 生
※常務執行役員 土木本部長	杉 本 武 司
常務執行役員 東京支店長	田 中 哲 哲
※常務執行役員 管理本部長・CSR担当	中 田 俊 一
※執行役員 建築本部副本部長・海外事業担当	久 保 敬 三
※執行役員 技術本部長兼工務監督室長・安全品質環境担当	野 村 貞 廣
執行役員 建築本部副本部長	綿 村 正 明
執行役員 建築本部副本部長	宍 戸 勝 修
執行役員 大阪支店長	森 拓 也
執行役員 名古屋支店長	小 林 康 人
執行役員 土木本部副本部長兼土木部長	不 動 正 廣
執行役員 東京支店副支店長兼建築営業部長	権 藤 智 丸
執行役員 管理本部副本部長	



株式情報 (平成21年9月30日現在)

- ◆発行可能株式総数 11,000万株
- ◆発行済株式の総数 40,037,429株
- ◆株主数 6,128名

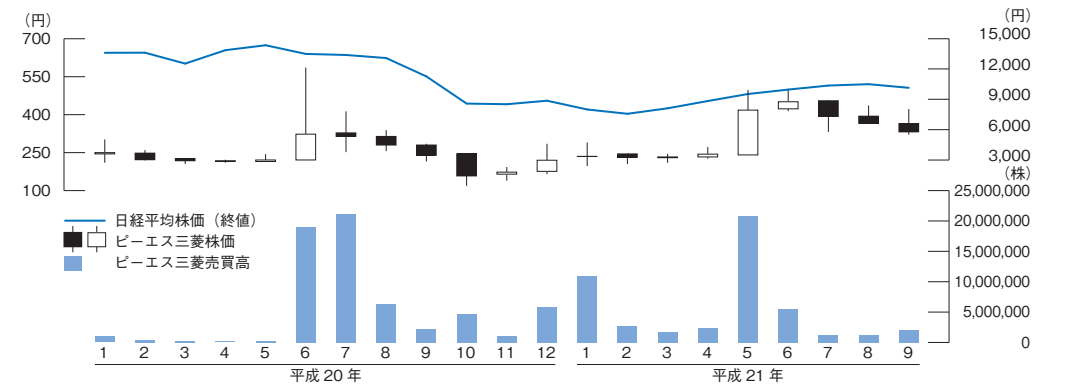
所有者別株式保有状況



大株主

株主名	持株数	出資比率
三菱マテリアル株式会社	15,945,496株	40.00%
(内 第一種後配株式)	(3,642,858)	(9.14)
太平洋セメント株式会社	4,491,300	11.26
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,990,561	4.99
(内 第一種後配株式)	(1,928,571)	(4.84)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,990,067	4.99
(内 第一種後配株式)	(1,928,571)	(4.84)
住友電気工業株式会社	1,834,800	4.60
岡山県	839,740	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	785,800	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	669,300	1.67
三菱商事株式会社	627,405	1.57
三菱地所株式会社	496,000	1.24

日経平均株価・株価・売買高の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同総会議決権行使株主 確定日	3月31日
■期末配当金受領株主 確定日	3月31日
■中間配当金受領株主 確定日	9月30日
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所
■単元株式数	100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



コーポレートマーク

生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。

また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「大豆油インキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。